

科目名	教育・保育職研究						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 保育士資格				
<b>授業概要</b> 教育・保育に関する様々な問題状況に関心を持ち、教職員となる自分自身の役割、社会的責任および、教職や保育職の専門性、また、それらの前提となる社会人としての姿勢などについて学ぶ。							
<b>到達目標</b> 教員・保育者に必要な、制度面を中心とした基本的な知識をえること。 今まで、そして今も「受ける」立場にあるところから「行う」立場の教員・保育者としての姿勢について考えることができること。 保育園（所）や幼稚園のさまざまな実態を知り、教育・保育の職にある者が担うべき役割・あるべき姿と課題について考えることができること。			<b>成績評価方法</b> 定期試験 80% 提出物、受講状況 20%				
評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○						10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
授業計画							
1) オリエンテーション							
2) 保育士、教員とは何かを考える(1) 「働く」ということと保育							
3) 保育士、教員とは何かを考える(2) 語られる教員像、現場の求める保育者像							

4) 幼稚園教諭、保育士の基本について考える(3) 組織の一員としての保育者	
5) 幼稚園教諭、保育士の基本について考える(4) 信頼される保育者、保育者としての倫理	
6) 保育者の仕事について考える(1) 日々の保育とクラスの運営	
7) 保育者の仕事について考える(2) 園・所の管理運営、行事への対応	
8) 教育・保育職をめぐる制度(1) 学校教育・保育についての制度	
9) 教育・保育職をめぐる制度(2) 教育・保育職の養成と制度	
10) 現代の保育・教育と課題(1) 保護者、地域との関わり	
11) 現代の保育・教育と課題(2) 幼保一元化と保幼小連携、保育需要をめぐる課題	
12) 現代の保育・教育と課題(3) 子ども・子育て支援新制度と保育職の今後	
13) 教育・保育職のあるべき姿(1) 子どもの最善の利益を優先する保育者であるために	
14) 教育・保育職のあるべき姿(2) 信頼される存在になるために—プロとしての保育者の資質	
15) 教育・保育職のあるべき姿(3) 成長し続ける保育者になるために	
授業外学習	
保育の最新事情を中心として、保育・教育をとりまく社会情勢に関する報道記事に目を通すこと	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト>「プロとしての保育者論」上野恭裕編著 (保育出版社) <参考書>「学校文化の社会学」、「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説書」、「保育小六法」	教育原理、保育原理、教育・保育課程論、教育実習、保育所実習、各実習指導、保育・教職実践演習
備考	
受講の心得>講義の趣旨のひとつが教育・保育職にある者としての姿勢を問うものであることから、受講に際しても、そのことを踏まえた「姿勢」を体現することを求める。 <b>【オフィスアワー】</b> 伊藤 一統 ittoh@ube-c.ac.jp	